



高知若草養護学校 相談支援室



# 若草わかばだより

H30/12/21

No2

高知市春野町弘岡下 2980-1 TEL088-894-5335 FAX088-894-2965



今年の冬は暖かい?と思ったのも束の間、本格的な寒さを感じ始めた頃、気づけば2018年も終わろうとしています。保護者の皆様、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか?

今回のわかばだよりでは、夏期休業中に開催した公開講座をはじめ保育園支援についてのご報告と併せまして、地域で皆様から実際に聞かせていただいたお声等についても、紙面を通じてお伝えします。

## 公開講座

「子ども達を褒めて伸ばす強化の原理～グループワークを中心に～」

講師：森下 浩充先生

今年度の公開講座は、昨年度に引き続き、須崎くろしお病院言語聴覚士の森下先生をお招きして開催しました。校外からも18名の保育士さん、小・中学校の先生方、関係者の方々に参加していただきました。

まず、森下先生から示される事例について「自分だったら、どう対応するか」を検討し、参加者が自らの日頃の支援・指導方法をふり返りました。その後、強化や弱化、消去といった応用行動分析の原理、分析の方法、指導・支援の方法について、具体的に分かりやすく説明していただきました。説明の中には動画視聴や体験的学習も含まれており、また、グループ協議の時間を設定したことによって、参加者の皆様による主体的な学びが実現されました。



参加者の皆様より、日頃の保育や教育における実践へつながる感想を、たくさんいただきました。

子どもの行動分析、分かっているようで難しかったです。行動前をふり返り、よりよい強化につながるよう頑張りたいと思います。

背景を考え、対応やプロンプトを考えていくということ、グループやクラスで行っていくことで授業改善につながると思います。

スモールステップで褒めていくことでの子どもへの影響を実際に見て、すごいなと思った。これからの保育にも生かせそうでした。

(アンケート回答より)



# 保育園支援

今年度も、たくさんの保育園に訪問させていただき、対象となる乳幼児の保育について、保育士さんと一緒に考えさせていただいております。継続的に訪問させていただく中で、子どもたちの成長が見られることが多々ありますが、そこには、必ず、保育士さんによる日頃からの丁寧な関わりや支援が見られます。私たちも一緒に学ばせていただいた保育園での取組について、いくつかご紹介したいと思います。



## ケース① 外遊び（自由遊び）がなかなかやめられない。

どうして、やめられないのかな？

- 「終わり」が伝わっていないのかな？
- 「終わりたくない」のかな？

好きなことが少ない（水遊びだけ等）と、難しくなります。いろいろなことが好きで、楽しめるように、活動を広げていくことも必要ですね。

見て分かるようにしてみよう  
聞いて分かるようにしてみよう  
いつも同じパターンで繰り返してみよう

あと10で終わると、少し前に予告してみよう  
終わった後にも、楽しいこと・好きなことを用意してみよう

靴箱のところに、好きな絵本（はらぺこあおむし）のモービルを飾って、「おしまい」の後に「あおむし みにいこう」と誘ってみると、スムーズに入室ができるようになりました☆

## ケース② お友達に砂や物を投げてしまう。

どうして、投げてしまうのかな？

- 何かに怒っているのかな？
- みんなに見て欲しいのかな？
- どこに置くのか分からないのかな？

できるようになって欲しいことにも目を向けてみましょう。

投げた後、どうなっている？  
みんなの注目が一斉に集まっている！  
（ダメ！やめて！の声かけ等も含めて）

投げずに遊んでいる時に、たくさん声をかけて関わってみよう。  
投げてしまった後は、さらっと対応しよう。友達の方に謝ったりして関わってみよう。  
投げてもいい場面を設定して遊んでみよう。

行動の後に「いいこと」が起こると、その行動は増えていきます。

砂場でスコップを持って遊んでいる時等に、周りの友達に声を掛けて注目してもらおうようにすると、投げたりせずに上手に砂を入れて見せて「どう？」と得意な表情も見られました☆みんなで遊ぶ場面では、物を投げることが少なくなってきました☆

ここで紹介した、保育園で実際に行われている支援は、公開講座で学んだ「子どもたちを褒めて伸ばす強化の原理」に当てはまる内容です。子どもたちを褒めて伸ばす関わりが広がっていくことを期待して、今後も、地域で見つけた素晴らしい支援を皆様に紹介していきたいと思っております。